

『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～

2025/12/3

2年探究質問訪問～次のステップへ～

2年生は探究活動で、自分たちで設定したテーマを深めてきました。12月はいよいよ次のステップ、「企業・大学・自治体・研究所など“社会の第一線で活躍する専門家”」に直接質問をします。これは、みなさんの探究が“学校の中だけの学び”から“社会とつながる学び”に進化する大きなチャンスです。2年生、「深い学び」へ。(編集 教頭)

◆ただの質問では意味がない！

「高校生の学びになるのなら」と普段の業務がある中、快く引き受けてくれました。ホームページや本で調べれば分かる内容を聞いてしまうと、相手にとっても自分にとっても意味がありません。専門家の時間をいただくのだから、相手の心を動かす質問を。相手を「おっ！」と思わせる鋭い質問を！「調べて分かること」ではなく、「専門家だからこそわかること」を聞く。ここが前南2年生諸君の腕の見せ所です。探究するテーマの新たな知見、課題解決のヒントを引き出してください！

◆質問をすることで得られる非認知能力

- ①自分の問いを洗練させる力
- ②論理的思考力(根拠をもって質問を組み立てる力)
- ③研究・調査の精度を高める視点
- ④社会の第一線の情報・感覚を学ぶ力
- ⑤コミュニケーション力(相手の立場を理解しながら話す力)
- ⑥主体性(自分の研究を自分で動かす力)



◆質問で回答を得たあと、探究では何をすべき？(次のステップ)

- ①回答の要点を整理する(意外な発見・気づき・新視点)
- ②自分たちの仮説・考えと照らし合わせ、差を分析する
- ③探究計画をアップデート、または軌道修正する

「方向は正しかったのか」「新しく深めるべき視点はあるか」「追加で調査すべきことは何か」など

- ④もう一度問いをつくり直す **“良い探究ほど「問いは変化する」”**



◆最後に◆

しっかり質問を考えよう。「ホームページに書いてあることは質問しない」なら、必然とホームページを調べるはず。それだけであなたの知見は広がります。知識が入った上で出てくる質問は、より高度な質問になります。探究は「質問→学び→再構築」のくり返しで深まります。2年生諸君の「質問の質」が、探究の「深さ」を決めます。12/4(木)「総合的な探究の時間」の中で班のメンバー全員でどんどん疑問・質問を出して、ブラッシュアップしていこう。そして、この訪問・インタビューは「あなた」「班」だけが語れる貴重な経験です。今後の進路で使える大きな経験となります。深ければ深いほど、鋭ければ鋭いほど、です。